

今号のわだい

【1面】 定期大会特別報告から
茨城・なめがたでのたたかい
福島・パワハラ裁判支援闘争
【2~3面】 第67回定期大会

全厚労ニュース

全 国 労 働 組 合 連 合 会
厚 生 連
〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日 定価 30円
http://www.zenkouro.org/



茨城なめがた・地元スーパー前での署名宣伝

9月6~7日に愛知県名古屋市・ウインクあいちで開催された全厚労第67回定期大会では、2つの県から特別報告をして頂きました。

なめがた地域医療センターの縮小問題から考える

茨厚労・私たちの職場と厚生連医療

茨城では、2016年の年末一時金0.5ヶ月回答と退職金凍結提案から、ストライキ・越年闘争を経て、一時金1.5ヶ月への引き上げと退職金不利益変更なしの労働協約を獲得しましたが、その後、18年3月には執行委員長の不当配転問題が起こるなど、闘いの連続でした。こういうさなか、19年2月に突然、なめがた地域医療センターの機能縮小が報告されました。

2月8日の茨城新聞で報道されましたが、病院長ですら知らされたのが3日前で、職員へは、院長、事務長判断により6日に報告がされました。地元自治体、消防も知らず、ましてや住民・患者も全く知りませんでした。直後に支部で対策会議を開き、住民へのチラシや署名を作成、地域への宣伝活動を始めました。介護施設や保育所、商店などを手分けして訪問し、協力を要請、地元スーパー前での署名行動や院内にも署名とチラシ、回収箱を設置しました。また周辺5市の市

議会にも働きかけ、3月議会での陳情・請願を提出し、厚生連・県に対して要望書が提出されました。現場では「早く次の就職先を」「年休は買い取ってもいいのか」などの不安や動揺もありましたが、議論していく中で、「ここで職員が頑張らなければ、病院はどうなる？患者さんは？」「大好きななめがたで働き、地域の信頼に応えたい！」という前向きな気持ちで運動の原動力となりました。

署名は、3ヶ月間で約2万2千筆以上、鹿行地域住民の約1割にあたる数を集め、500通以上の「住民の声」も寄せられました。その中には、「地域医療は利益ばかり考えてはますます過疎化が進む。住人に死ねと言っているようなもの」「私はこの病院の先生方によって病気をみつけてもらいました。すこしでも調子が悪いときなどにはこの病院にお世話になっています。ここにくと安心しほっとする」など、切実な声、励ましの言葉がたくさん寄せられました。

なめがた問題に関わる団体では、3回目「病院として存続させる」ことを会側に明言させました。転勤の条件整備や、やむなく退職せざるを得なくなった人に対する退職金の割り増しや年休買い取りなどを獲得。また県、厚生連、厚労省も入った「あり方検討委員会」を設置し、病院の機能回復に向けた道筋も作ることができました。

撤退・縮小は「赤字だから仕方がない」というのは間違いです。それは、JAの病院は全て「農家の人たちがお金を出し合って作り」「地域住民の税金から援助をいただく」「職員一人ひとりの働きによって出来た病院」

り、時には裁判をやめてしまおうと何度も心が折れそうになりましたが、「これまで受けたパワハラ、被告の陳述書に書かれた誹謗中傷、事実と異なる嘘は許せない！」と歯を食いしばり自分を奮い立たせて闘ってきました。この原動力になっているのは、みなさんのあたたかい支援と被告のパワハラによって退職していった多くの同僚たち、そしてこれから入職してくる人達のために「自分と同じ目に合わせたくない」と言う強い思いがあるからです。弁論準備の中では一度、「謝罪と再発防止」の内容を含んだ和解案が裁判官から出されたからです。市立、県立病院などの公立病院と同等に、経営者の都合だけでなくすることはできない「公的病院」なのです。茨厚労では、働く条件を守ること、地域医療を守ることは一緒である。自分たちの願いや要求は、「人まかせ」では実現しないこと。労働組合の運動でなければ、権利や要求を守ること、獲得することも出来ないこと。★最終的には「組合員でなければ権利や要求は守られない」。の4点を確認し、活動を強化しています。

ハラスメントのない職場へ

福厚労・パワハラ裁判支援のたたかい

福島・白河厚生総合病院で起きたパワハラに対して、被害者Aさん(30代)が提訴した裁判は9月2年が経過としています。Aさんは適応障害で療養休職、約1年の休職期間は満了し退職となりました。労組は引き続き支援するため、昨年11月7日、「パワハラ裁判を支援する会」を結成。共同代表には労組関係者の他、原告の中学時代の恩師になって頂き、原告の大きな心の支えとなっています。これまでAさんは各団体の集い等に福厚労役員と一緒に参加し、リアルな実態と支援を訴えてきました。この2年間、本人にも様々な葛藤があ

り、時には裁判をやめてしまおうと何度も心が折れそうになりましたが、「これまで受けたパワハラ、被告の陳述書に書かれた誹謗中傷、事実と異なる嘘は許せない！」と歯を食いしばり自分を奮い立たせて闘ってきました。この原動力になっているのは、みなさんのあたたかい支援と被告のパワハラによって退職していった多くの同僚たち、そしてこれから入職してくる人達のために「自分と同じ目に合わせたくない」と言う強い思いがあるからです。弁論準備の中では一度、「謝罪と再発防止」の内容を含んだ和解案が裁判官から出されたからです。市立、県立病院などの公立病院と同等に、経営者の都合だけでなくすることはできない「公的病院」

ました。被告は和解受け入れと同時に、「賠償金なし・口外禁止」を条件としたため、到底受け入れられず、不成立となりました。弁論準備は12回目(2月)で終了し、被告側は証人11人を準備しましたが、7月の進行協議で裁判官より3人に限定されました。被告側の膨大な陳述書の内容はパワハラの実態とはかけ離れたもので、証人を集めることと陳述書の作成にわざと時間をかけ、無駄に先延ばしをしてAさんに焦りとストレスを掛けるものでした。支援の輪は大きく広がり、街頭宣伝では多くの暖かい声を掛けてもらいました。9月12日に病院前のスタンディングを行い、10月11日、25日に裁判が予定されています。集

会・傍聴への組織、裁判所宛の新しい署名に取り組んでいます。この裁判に勝利することで、ハラスメント防止対策の重要性を厚生連に理解してもらい、ハラスメントのない職場の構築を目指して行くことと同時に社会にも発信したいと考えています。彼の勇気ある行動を無駄にせず、勝利の日までたたかい抜く決意です。



白河厚生総合病院前でのスタンディング

'19秋の集会案内

11月15~17日
●第36回医療研究集会(茨城・潮来)
13:30~ 茨城県潮来市・潮来ホテル
メインテーマ:
「住民とともに協同組合医療運動を復興させよう」
サブテーマ:
「地域を守り、未来へつながる働き方を探そう」
基調講演「厚生連病院の経営分析」
山口不二夫先生(明治大学大学院教授)
分科会: ①医療労働者と地域とのかわり、
②働きがいを見出すための私たちの「休み方改革」、
③病院を地域に開く、
④厚生連の病院の果たすべき役割
参加費: ※38,000円(全日程・2泊5食)

※いずれも詳細・申し込みについては、各県労組もしくは全厚労本部へ

パワポを使ってビジュアルに報告

全厚労第67回定期大会in愛知

9月6〜7日に愛知県名古屋・ウインクあいちで開催した全厚労第67回定期大会には、19県から役員・代議員・傍聴など含め167名が参加しました。

労働条件の向上へ

これまでの大会での総括等も踏まえ、議案提案と特別報告の一部(1面で詳報)と、専門委員会では、パワーポイントも利用してビジュアルに報告しました。会場の構造や機材のトラブルなどもあり、決してうまくいったとは言えませんが、今後、様々に改善を重ねていく予定です。

秋田、富山、徳島で、福

島では単身赴任手当、調理関係の手当を改善、富山では年末年始手当、香川でのオベ室手当増額、大分のオベ室ME手当、薬剤師の抗がん剤調製手

当新設、広島ではGW10連休に因っての特別手当なども獲得しました。ベースアップは、全体のものではありませんが、広島でこれまで臨時職員だった助手、クレーク等の非正規職員を「地域職員」として正職員化し、正職員と同等の賃上げ(2・51%)となるように賃金表を整備し、実質

大の方策、専門委員会の位置づけ等について質問・意見があり、19年度の執行体制の中で議論と方向性を確認していくことになっています。

女性部では、4年余りに渡って続いていた不当労働行為救済申立事件が和解し、正常な労使関係の再構築に向かっていくこと、給与削減によらず離職しない職場づくりに向けて労使協議していくと報告されました。

新潟では、4年余りに渡って続いていた不当労働行為救済申立事件が和解し、正常な労使関係の再構築に向かっていくこと、給与削減によらず離職しない職場づくりに向けて労使協議していくと報告されました。

女性部では、「母性保護月間」の多彩な取り組みを学びました。また各県女性部での「母性保護月間」の多彩な取り組みを学びました。また各県女性部での「母性保護月間」の多彩な取り組みを学びました。

女性部では、「母性保護月間」の多彩な取り組みを学びました。また各県女性部での「母性保護月間」の多彩な取り組みを学びました。

女性部では、「母性保護月間」の多彩な取り組みを学びました。また各県女性部での「母性保護月間」の多彩な取り組みを学びました。

女性部では、「母性保護月間」の多彩な取り組みを学びました。また各県女性部での「母性保護月間」の多彩な取り組みを学びました。

平和

折り鶴奉納



長崎市・原爆の碑前で折り鶴奉納しました。

青年

有休取得、残業是正、パワハラなど... 働きやすい職場について青年で考えます



前回のK's秋田では秋田・福島・富山・茨城・長野・埼玉・静岡・岐阜・三重・広島・香川・徳島・高知・大分から98名の青年が参加しました☆

グループワークで辞めないアイデアを出し合い

組織強化 拡大に向けて

全厚労の組織は、19県(厚生連でなくなった埼玉2病院を含む)、約3万人で推移していますが、財政状況は厳しく毎年の赤字予算、赤字決算状況が続いています。組織強化拡大の課題では、組合員登録の課題と組合員拡

定期大会発言者リスト

Table with 3 columns: 県 (Prefecture), 発言者 (Speaker), 主な内容 (Main Content). Lists speakers from various prefectures and their topics, such as labor conditions, women's issues, and organizational strengthening.



月間には手作りポプリで女性の権利をアピール

Advertisement for a meeting titled '女性 女性部での「母性保護月間」の多彩な取り組みを学びました。また各県女性部での「母性保護月間」の多彩な取り組みを学びました。また各県女性部での「母性保護月間」の多彩な取り組みを学びました。' with a date of 2019年10月11日 and 12日.

2020年K'sにむけて準備スタート

青年も大会に参加

全厚労第67回定期大会では堀野翔太青年委員長から、18年秋に開催した青年集会「K's Station in 秋田」での内容や、新歓に合わせた学習、「夜勤改善・大幅増員署名」への取り組みについて、京都医労連が作成したYouTubeの動画「教えてこなつちゃん」を見た後に青年でどう取り組めるか議論し、まず青年委員で署名し

学習を進めることを話し合い、長野・茨城・高知では委員会後に地元での署名の取り組みにチャレンジしたことなどが発言されました。

また次回K'sについて「全国の厚生連の青年が集まり、遊び・学ぶことで組合のつながりや大切さを感じ、働き続けられる職場を一緒に目指していければと思います。自分たちの働き方や、労働条件について、入職したばかりの青年にも身近に考えてもらえるような

グループワークや、学習企画を考えていきます。ぜひぜひ職場の青年をK'sに出してください。よろしくお願ひします」と呼びかけました。

会場では、医労連青年集会「北海道アクト」で好評だった北海道エゾ鹿肉の缶詰で財政活動も行ない、多くの方にご協力いただきました。

大会後に開催した第1回青年委員会では、新旧併せて22名が参加。アイスパレイクも交え、2020年に開催する「K's Station in 三重」に向けて議論を重ねました。



取り組みを話す堀野青年委員長

三重におかない

K's三重は2020年11月6日(金)～8日(日)、三重県鳥羽温泉での開催を予定しています。今回K's三重のテーマは「来るだけで大吉 三重K's

におかない」に決めました。「おいない」は三重弁で「来てね(おいで)」という意味です。オプショナルツ

アーでは伊勢神宮や、おかげ横丁の散策を計画しています。伊勢神宮にはおみくじがなく、参拝するだけで大吉と言われていること、また組合を知る第一歩としてK'sに参加してもらえた

らという意味をテーマに込めました。青年委員会では、三厚労青年部の力も借りながら、開催地三重のことが知れるような内容や、働きかたや組合の

大切さについて楽しみながら学習できる企画を考案中です。今後もK'sユースでお知らせしていきます。

「おいない」に決めました。「おいない」は三重弁で「来てね(おいで)」という意味です。オプショナルツアーでは伊勢神宮や、おかげ横丁の散策を計画しています。伊勢神宮にはおみくじがなく、参拝するだけで大吉と言われていること、また組合を知る第一歩としてK'sに参加してもらえた

らという意味をテーマに込めました。青年委員会では、三厚労青年部の力も借りながら、開催地三重のことが知れるような内容や、働きかたや組合の

大切さについて楽しみながら学習できる企画を考案中です。今後もK'sユースでお知らせしていきます。

K's三重成功にむけて頑張ります

笑門福来る? カクイシジュンスケ



大会役員

議長団

越崎 祐輔 (北海道)

清水 孝則 (長野)

常政 智弘 (香川)

議事運営委員会

大崎 泰信 (富山)

★高嶋 洋子 (長野)

小椋 瑞樹 (三重)

田中 優二 (香川)

岡野 学 (中執)

選挙管理委員会

下保 誠史 (北海道)

木内 亮 (長野)

★西田 知弘 (岐阜)

万里 昌美 (徳島)

大会事務局

大会書記

西川 元樹 (富山)

大島 賢治 (大分)

★大会運営補助

野崎寿美枝 (富山)

春原 晶子 (長野)

【次期選挙管理委員】

三北・秋田

関信・茨城

東海・三重

西日本・徳島

★印は委員長

2019年度 全厚労役員

中央執行委員長

畑中 剛喜(三重・再)

中央副執行委員長

中村 悟(秋田・再)

花澤 直樹(長野・再)

辻 英晶(愛知・再)

岩本 一宏(広島・再)

書記長

松尾 晃(本部・再)

書記次長

岡野 学(本部・再)

中央執行委員

下保 誠史(北海道・新)

三浦 拓也(秋田・再)

齋藤 文子(福島・再)

和田 祐輔(新潟・再)

島山 浩一(富山・新)

高橋ただし(長野・再)

宇留野正志(茨城・新)

阿部 恵美(熊総・新)

岡部 義秀(神奈川・再)

高島 美幸(静岡・新)

中央執行委員

川田 祐生(香川・再)

島山 宗(徳島・再)

由比 智一(高知・再)

中野 綾(大分・再)

会計監査

大平 雅浩(新潟・再)

平林 誠一(長野・再)

泉 幸恵(高知・新)

退任された役員

書記次長

安本真理子(茨城)

中央執行委員

長瀬 真幸(北海道)

吉滝 和彦(富山)

斉藤 美晴(埼玉)

辻本 英範(静岡)

斯波 貴弘(岐阜)

岡野 元保(三重)

会計監査

松野多希子(山口)

大会へのメッセージを頂いた組織

●全国組合

全医労 全日赤 全JCHO労組 全労災 国共病組 公共労

●県医労連

北海道 青森 秋田 山形 福島 長野 福井 茨城 群馬 埼玉 東京 新潟 富山 石川 山梨 愛知 滋賀 京都 岡山 広島 愛媛 福岡

●友誼組合・団体

全労連 日本医療総合研究所 全農協労連 鹿児島県農協労組 農民連 全国食健連 民放労連 国公労連 非核の政府を求める会 中央社保協 建交労 労働者教育協会 日本原水協 全国革新懇 全国保団連 国民救援会 全教 キャビンクルーユニオン (順不同)

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第145回は秋田と愛知にお願いしました。



秋田 田中富三男さん

秋厚労山本支部の田中富三男です。以前は全厚労青年委員会の委員長を務めさせていただいた時期もあります。その時K's stationが徳島で行われる予定でしたが台風により泣く泣く中止となり、とても寂しい思いをしました。それでも、全厚労青年委員会として活動させていただいた時に感じたこと、学んだこと、全国に仲間ができたことは今でも大きな財産となっております。そんな私は現在がん化学療法看護認定看護師として日々精進しております。誇るべき私の仲間たちが、同じようにして私のことを誇れるように今後もあの頃の思いを忘れずに突き進んでいきたいと思ひます。

愛知県からは、愛厚労書記次長・吉川百合さんを紹介しつす。吉川さんは、知多厚生病院の看護部に所属し、看護師として患者さまの痛みや苦しみに寄り添い仕事を行っています。



愛知 吉川百合さん

組合活動においても、様々な行事に参加してくれています。今年度からは、愛厚労看護委員長として、持ち前の明るさとネットワークの軽さで様々な行事に参加し、組合員の皆さまの声を大切に聞きながら一生懸命頑張ってくれるのではないかと思います。(でも私、「超」が付くほどの方向音痴なんです…。※本人より)

読者の声

アサー・ビナードさんの紙芝居の講演記事が面白かったです。紙芝居は日本独自の文化なんです。ここから展開される戦争の裏側など、実際に聞いてみたいなと思う内容でした。(長野)

一時、戦場カメラマンを目指していた私。戦争は悲惨なだけです。自衛隊は戦争より災害復旧に活躍してほしい。(MT)

働き方改革が始まって少し経ちましたが、まだまだ不満足等は拭えないと思うので、記事にも看護の働くルール推進という言葉があったように、その職場に合ったルールを考えていかなければいけないんだなと思いました。(富山)

——本場にそのとおりだと思います。働く環境は職種・職場ごとに違うので、大切なことは、そこで働く労働者が声を上げることだと思います。働き続けられる職場作りと一緒に頑張りたいです。(OK)

生理休暇とれるところもあるんです。休んでもいい程度がわからず、我慢して働いているので、全国に普及してくれるのを願ひます。(富山)

——女性を持つ妊娠・出産機能を保護するために、労基法で定められています。誰でも休みが取得しやすい職場環境にしていかなければいけません。(SN)

福島県で行われた全厚労女性集会に参加してきました。「子どもたちが安心して生活できる福島に」本場にその通りだと思いました。(秋田)

——被災から8年、世間では終息したように思われていますが、未解決なことが多く残っている現状を知っていただきたいと思います。(KU)

医労連共済の

火災共済

建物だけで 最高4,000万円保障
家財だけで 最高2,000万円保障

- 再取得価額保証だから安心です。●火災以外の風水害なども保障。●地震特約もつけられます。
- 退職後も継続加入できます。

★契約内容の詳細は、リーフレットをご覧ください。

ご加入のご相談お問い合わせは
労働組合の共済担当者まで

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、「資料・データ」のページから過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。



クロスワードの投稿もQRコードからできます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。今年度からハガキでもポイントが貯まります☆

スマホからすべて投稿できます★



教宣部の つぶやき

最近ついていない！15年乗っている車のサスのスプリングが折れた。大型家電も続けて数台壊れた。10年近く実家の田んぼで米を作っているが、今年はイノシシ被害も大きく、更にはこの悪天候で稲刈りも思うようにならず、スマホも壊れ、心の中は大ダメージ。しかし、被災された人に比べれば幸運なのだろう。自分で自分を慰める。(KU)

ザ★クロスワード

出題▶モロゾス三勝

1		2		3		4		5
		A						
		6		7		B		8
9		10				11		
		12		13		14		
		15		16				17
		19				20		21
		22		23				E
24						25		C

答 A B C D E F

- ヨコのカギ
- 秋の味覚です
 - タイ王国の首都
 - 床屋。……店
 - 食用蛙の別名は……蛙
 - つり合い。……のとれた美しい身体
 - 可愛くいじらしい。純情……な少女
 - 鉛筆の中心にあります
 - 力士のようなからだ
 - その土地だけの麦酒
 - 昔話「……切雀」
 - ……の子は……
 - ……を立てて芝居を続行
 - 猟師が山へ……に行く
 - 10月の異称は……月
 - 季節。運動会の……
 - パトンを渡す……競争
- タテのカギ
- 船を港につなぐための岸から突き出した橋
 - 海の「……スポーツ」
 - ドストエフスキーの小説「罪と……」
 - 日本では65歳以上の人……さんたん。……談しわがれ声。……ボイス
 - 女性用の肌着
 - ……思い。……いなか。……仮名
 - 首都はアンマン
 - 都会に林立しています
 - 最近ではアプリでも呼べます
 - 一本足で立っています
 - キツネを祭ります
 - 美術……。図書……
- 23 21 19 18 16 14 11 10 7 5 4 3 2 1
- 当選者(読者の声掲載者含む)10名様に図書(クオ)カードを差し上げます
- 答えと本紙の感想などを添えて下記まで先へお送りください。当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。6月号の答えは「トザンキヤク」で、当選倍率は3・5倍(クロスワード・聞かせて、読者の声、計10名当選)でした。